

## 令和2年「わくわくサイエンス in サイバル」実施報告書

旭川医科大学解剖学講座（顕微解剖） 助教 春見達郎

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム主催の一般市民向けの体験型実験実習体験イベント「わくわくサイエンス」は、今年度で10回目を迎えた。本事業では、社会への大学研究成果の還元、および次世代を担う科学研究者の育成をめざして、小学生から一般市民までを対象とした体験・展示型理科教室を毎年1～2回実施している。本年度も、1)旭川市教育委員会との共催として「まなびピアあさひかわ」の連携事業として開催した、2)開催場所を昨年度に引き続き旭川市科学館を利用した、4)これまでの旭川医大の後援に加え、今回は北海道教育大学旭川校、および旭川大学短期大学部の後援も得た。その結果、旭川医科大学の出展に加え、今回は北海道教育大学旭川校物理学教室および旭川大学短期大学部食物栄養学専攻の出展協力も得ることができ、今回のイベントサブタイトル「アサヒカワ ノ カガク」として拡充を行うことができた、5)例年通り旭川市内高校の理科系クラブに出展を依頼した結果、より多くの出展希望があり9ブースの出展があった(2019年は6ブース)。今回、例年の「わくわくサイエンス」の開催に加え、同じ科学館の学習研修室を利用し、旭川医科大学病院診療技術部の支援を受け「医療技術職の仕事と資格の紹介フェア」も同日実施した。その報告は別紙に記した。

### 【わくわくサイエンスの概要】

今回、令和2年2月10日(日)10:00～16:00に旭川市科学館特別展示室で開催した。展示内容として以下の18ブースの参加が得られた。

#### 旭川医大教員出展ブース

- ①「診察体験：病院でよく使う医療道具を使ってみよう」(大栗、後藤、山口)
- ②「自分の血管を見てみよう」(安田)
- ③「遠心力って何？」(大保)
- ④「標本展示」(佐々木)
- ⑤「森林浴体験」(名誉教授 中村正雄)

#### 北海道教育大学旭川校物理学教室ブース

- ⑥「音を見る」
- ⑦「振るだけで水がお湯に…？」

#### 旭川大学短期大学部食物栄養学専攻ブース

- ⑧「おいしい味噌汁を体験しよう！」

#### しらかば共同作業所

- ⑨「草木染体験」

## 高校理科部出展ブース

旭川明成高校科学部（高校生 7 名、引率教諭 2 名）

⑩「光で遊ぼう」

⑪「葉脈のしおり」

旭川西高校物理部（高校生 8 名、引率教諭 1 名）

⑫「いろんな物理に触れよう 第 2 弾」

旭川西高校生物部（高校生 8 名、引率教諭 1 名）

⑬「おさかなさかな クールクル」

旭川西高校化学部（高校生 4 名、引率教諭 1 名）

⑭「信号反応を体験してみよう・極低温の世界～気体窒素で低温実験～」

旭川東高校科学部（高校生 14 名、引率教諭 1 名）

⑮「一瞬で燃える綿」

⑯「シャボン玉で遊ぼう」旭川北高校理科実験  
旭川北高校理科実験研究部（高校生 8 名、引率教諭 1 名）

⑰「楽しいスライム」

⑱「人工イクラをつくろう」

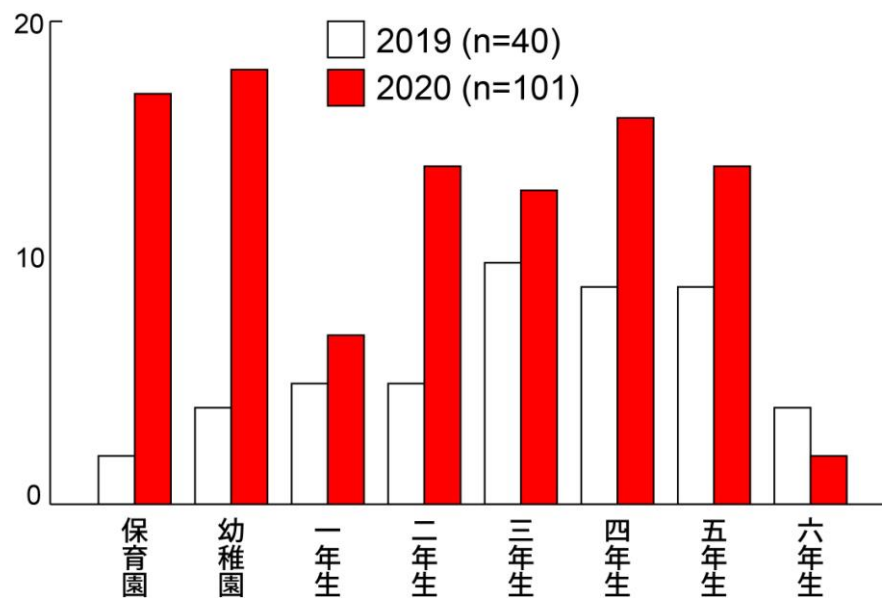
今回、入場参加者は 342 名を数えた。そのうち観覧者は 261 と昨年の 150 名を大きく超えた。今年も旭川冬まつりと時期が重なったことに加え、「まなびピア」が市内全教育文化施設での実施に拡大されたことを考えると、非常に健闘した値ではないかと考えている。沢山の親子連れなどが来場し、しかも、来場者の多くは全ブースを回って本イベントを楽しんだ。サイエンスグッズが当たるスタンプラリー（子供対象）の企画も、最後まで親子で楽しんでもらった要因の一つと考えられる。今年も、海外からの親子連れの観覧者が見られたが、高校生も含め英語での説明を行った。

例年の目玉企画である「わくわく診察体験」（ブース①）には、旭川医大基礎講座教員および旭川医大医学科第 4 学年 6 名によって供されたが、参加者の大きな注目を浴びた。ブースの内容は昨年にも実施した「採血シミュレーターによる採血体験」、「血圧測定体験」「聴診器体験」「腱反射体験」、パルスオキシメーターを用いた「血中飽和酸素濃度の測定」および「瞳孔反射の観察」である。子供たちも楽しみながらそれぞれの内容を体験していた。

当日の会場では、展示開始の 10 時からこれまでになく多くの親子連れの観覧者が入場し、午後 3 時過ぎまで途切れることはほとんどなかった。足早に全てのブースを回ろうとする親子も見受けられたが、参加型実験をしっかりと体験しようとする子供たちも多く、保護者も各企画内容に熱心に質問したり、説明にうなずきながら聞き入る光景があちらこちらで見られた。説明担当の高校生や大学生も丁寧にかつ熱意に満ちた対応をしており、課外活動としても有意義な経験になったと思われる。今回、旭川医大医学科 4 年生を「診察体験」ブースの補助だけでなく、医大教員の展示ブースの「遠心力って何？」「森林浴体験」にも配置した。医大教員が展示を離れ、学生だけで展示を説明する場面も多くみられたが、各自、対象となる観覧者の年齢に応じて工夫し、分かりやすく説明することを心がけていた。ブース参加の学生からは「想像以上に子ども達に来てくれて、こちらとしてもやりがいがありました。」「子供達のびっくりした表情や、興味深い感じを見れてやった甲斐があったなと思いました。」「お客さんの笑顔が見れて幸せになりました。」など、このイベントに参加して満足した声を多く聞いた。今回、観覧者に観覧終了後アンケートを募ったところ、小学生以下 101 名（代筆含む）、中学生以上 10 名のアンケート結果が得られた。小学生以下の回答に絞って、今回のアンケート結果を見ると、昨年と比べて非常に増えたのが小学校低学年やそれ以下の未就学児童である（図 1）。これらの低年齢の子供たちに、今回のイベントは難しすぎないか、つまらないのでは、と危惧したが、“とても”楽しかった、“とても”わかりやすかった、および、“とても”ま

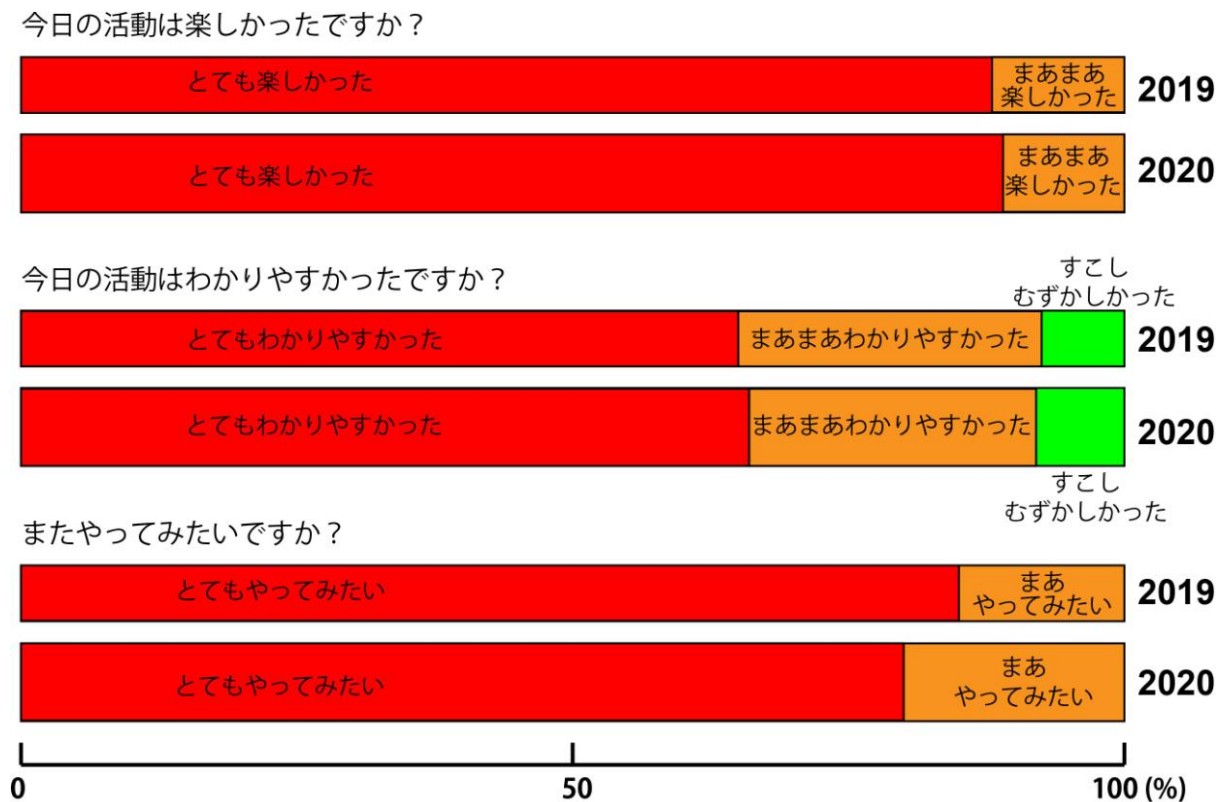
たやってみたい、との回答が半分以上を占め、回答数は倍以上になったにも関わらず、昨年の結果とほぼ同じ結果を得た。来場した多くの子供たちに満足して貰うことができたと言える(図2)。ただ、わずかながら、「少しむずかしかった」との回答も、昨年同様有ったことから、今後、低年齢の参加者にも理解させるような説明をする必要があると感じられた。

図1 参加小学生(アンケート回答者)の内訳



次回以降、さらに多くの市民に本企画を知って頂けるよう創意工夫を重ね、子供たちと市民のための科学イベントとして定着させて行きたい。

図2 参加小学生(および小学生以下)のアンケート結果



なお、今回のイベントを開催するにあたり、旭川医科大学基礎医学講座に所属する教員で企画実行委員会を組織した。また、医学科4年生7名も旭川医大教員と共に企画実行委員として参加した。

令和2年度「わくわくサイエンス in サイパル」企画実行委員

旭川医科大学

解剖学講座	春見達郎	寄生虫学講座	佐々木瑞希
病理学講座	大栗敬幸	生理学講座	山口陽平
病理学講座	後藤正憲	微生物学講座	松田泰幸
生化学講座	安田哲	生化学講座	大保貴嗣

医学科4年 大武志帆、松田伊織、今村真珠美、佐久間光志、田中あかり、田邊洋祐、秋田谷悠佑







**市民向け体験型実験実習イベント**

## わくわくサイエンス

アサヒカワ ノ カガク in サイバル

**見て、聞いて、体験できる  
ブースがたくさん！**

- 診察体験 (旭川医大)
- 自分の血管を見てみよう (旭川医大)
- 遠心力ってなに? (旭川医大)
- ミニ標本展 (旭川医大)
- おいしい味噌汁を体験しよう! (旭川短大)
- 振るだけで水がお湯に…? (北教大旭川校)
- 音を見る (北教大旭川校)
- 森林浴体験 (森林療法研究所)
- 草木染体験 (しらかば作業所)
- 高校理科ブース 旭川東高等学校  
旭川北高等学校  
旭川西高等学校  
旭川明成高校

**令和2年 2月 9日 (日)**  
**10:00~16:00**  
**旭川市科学館サイバル  
特別展示室**

ブースをまわって  
スタンプをあつめよう!  
ステキなプレゼントが  
もらえるよ!  
(中学生以下限定)

主催: 旭川ウェルビーイングコンソーシアム  
共催: 旭川市教育委員会 旭川医科大学  
北海道教育大学旭川校 旭川大学短期大学部

## 医療技術職の仕事と資格の紹介フェア

### 病院ではたらくということ

**同時開催**

病気を治すのは お医者さんと看護師さん だけ?  
いえ、いろいろな資格を持った、たくさんの医療技術職員も  
いっしょに One Team で患者様の治療にあたっています。  
わたしたち医療技術職員の仕事や資格をすべて紹介します。

**令和2年 2月 9日 (日) 10:00 ~ 16:00**  
**旭川市科学館サイバル 1階 学習・研修室**

主催: 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム、  
共催: 旭川市教育委員会、旭川医科大学、旭川医科大学病院診療技術部